



北海道支部だより

2020年10月号 Vol. 20-1

令和2年度・第29回

環境測定分析技術研究会発表会開催報告 @支部事務局

北環協、日環協北海道支部の年次事業として開催されております「環境測定技術研究会発表会」は平成4年に始まり、令和2年度で29回目となりました。コロナ禍の影響で多くのセミナーや講習会の開催が中止、延期となっている中、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、今回は17事業所 27名の皆様にご参加いただき、無事開催することができました。

☆第29回 環境測定分析技術研究会発表会 プログラム

○開催日：令和2年 9月25日(金) 15:00～

○場所：札幌サンプラザ（札幌市北区北24条西5丁目）

○参加状況：発表会参加 27名(17事業所、関係者含む)、交流会はコロナウイルス拡散防止のため中止

【発表内容】

発表テーマ	発表者	所属
「高 BOD 排水分析の効率化」	須貝 洋海 氏	株式会社イーエス総合研究所
「SDGs の取り組みとポリビア国で実施した井戸長寿命化事業の紹介」	鈴木 利実 氏	株式会社レアックス
「超純水の製造とその利用法」	奥山 直人 氏	オルガノ株式会社
「北環境の災害協定への取り組みについて」	高岡 伸一 氏	北海道環境計量証明事業協議会 幹事

今年度は当初の開催予定日がずれ込んだため、発表準備の期間が非常に限られていましたが、最終的に4事業所4名の方々に発表していただきました。COD簡易法からBODの希釈を予想して再分析を減らすことで時間の短縮、精度の向上を可能とした「高BOD排水分析の効率化」、SDGsをもとに技術提供によって開発途上国の水不足問題を支援している実際の取り組みを紹介いただいた「SDGの取り組みとポリビア国で実施した井戸長寿命化事業の紹介」、微量分析では毎日当たり前のようになっている、超純水の取り扱い及び重要性を再認識させられた「超純水の製造とその利用法」、さらに地域貢献を念頭に、災害時においても対応できる体制の構築への取り組みとして「北環境の災害協定への取り組みについて」、4題がそれぞれ異なる分野のテーマとなり、多様な知見を得る貴重な機会となりました。また交流会は中止となりましたが、各発表後の質疑応答では非常に活発な様子が伺え、御参加いただいた皆様にとってたいへん有意義な発表会であったものと感じております。技術者間の

情報交換・交流の場として、来年度以降もこの発表会への多数のご参加をお願い申し上げます。

最後になりますが、通常開催とは異なり、初めての試みの中お忙しいところ準備をしていただいた発表者の皆様、本発表会にご支援・ご協力を頂きました会員の皆様、企画運営いただきました北環協事務局、実行委員、運営委員の方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆発表会の様子



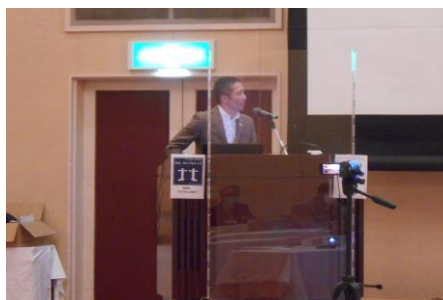
北海道環境計量証明事業協議会
会長 高橋 徹 氏 ご挨拶



発表会の様子



株式会社イーエス総合研究所
須貝 洋海 氏



株式会社レアックス
鈴木 利実 氏



オルガノ株式会社
奥山 直人 氏



北海道環境計量証明事業協議会 幹事
高岡 伸一 氏



(一社)日本環境測定分析協会北海道支部
支部長 明石 憲宗 氏 ご挨拶



座長席

☆受付、会場の様子

